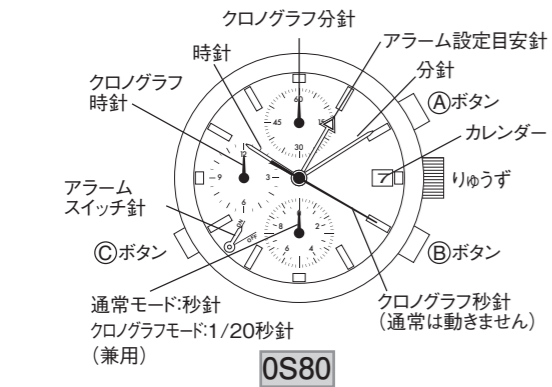
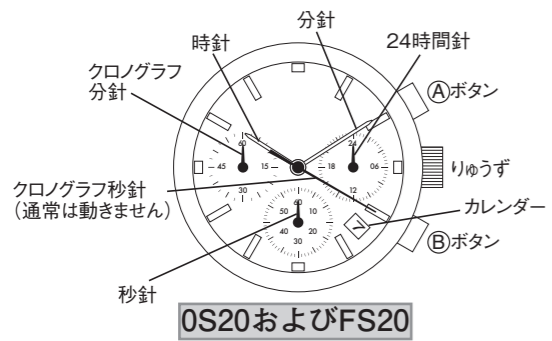
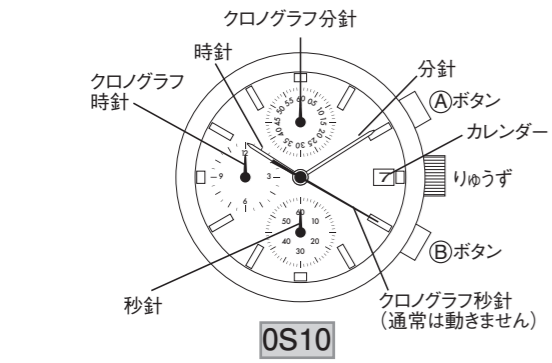






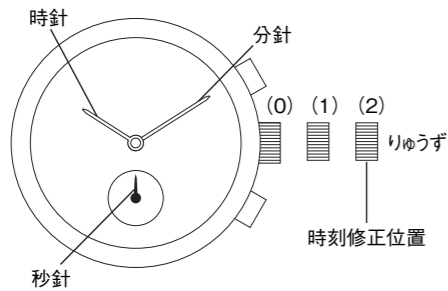
この取扱説明書は各モデル共通になっておりますので、デザインが異なってもご使用になられます。また、お買い上げ商品にない機能が載ってありましたらその箇所は省いてご利用ください。

## 各部の名称



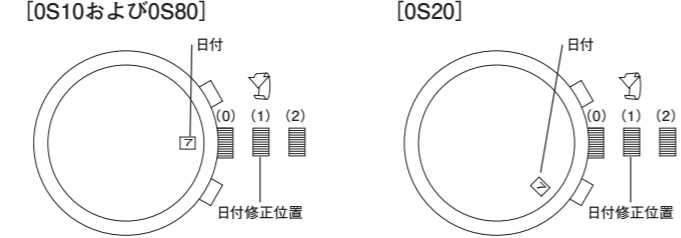
## 時刻の合わせ方

※時報サービス117をご利用になると正確に合わせられます。



1. 小秒針が0秒位置で停止するように、りゅうずを2段引き (2) の時刻修正位置にします。  
(秒針が早送りされ0秒位置に停止します。)
2. りゅうずを回して、時・分を合わせたい時刻に合わせます。  
※りゅうずを右に回すと空回ります。  
※日付が切り替わった時が午前0時です。日付を確認しながら、午前／午後を間違えないようにあわせてください。
3. 時報 (tel.117) 等に合わせたりゅうずを (0) の通常位置に押し込めば完了です。

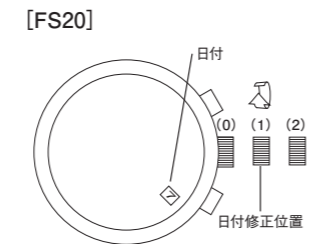
## 日付の合わせ方



1. りゅうずを1段引き (1) の日付修正位置にします。
2. りゅうずを左 (反時計回り) に回し正しい日付に合わせます。
3. りゅうずを (0) の通常位置に押し込めば完了です。

<注意> 時計が午後9時～午前1時頃を指している間は、日付の修正を行わないでください。この間に修正を行うと翌日になっても日付が変わらない場合があります。

※日付は31日周りです。小の月の翌月初めにはりゅうず操作での日付け修正が必要です。



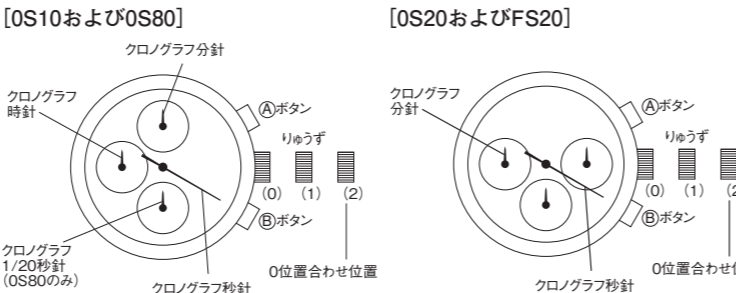
1. りゅうずを1段引き (1) の日付修正位置にします。
2. りゅうずを右 (時計回り) に回し正しい日付に合わせます。
3. りゅうずを (0) の通常位置に押し込めば完了です。

<注意> 時計が午後9時～午前1時頃を指している間は、日付の修正を行わないでください。この間に修正を行うと翌日になっても日付が変わらない場合があります。

※日付は31日周りです。小の月の翌月初めにはりゅうず操作での日付け修正が必要です。

## クロノグラフ針の0位置合わせ

時計に強い衝撃が加わった場合などに、まれにクロノ針の0位置がずれてしまう場合があります。このようなときには0位置合わせを行ってください。また電池交換後も0位置合わせを行ってください。



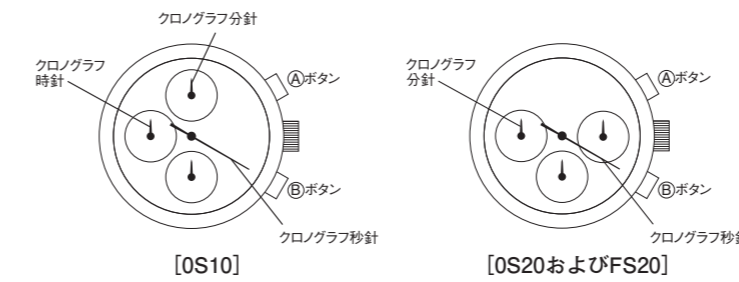
1. りゅうずを2段引き (2) の0位置合わせ位置にします。
2. (A) ボタンを押してクロノグラフ秒針を0秒位置に合わせます。ボタンを押すにつけると早送りできます。
3. (B) ボタンを押してクロノグラフ1/20針を0秒位置に合わせます。[OS10およびOS80] ボタンを押すにつけると早送りできます。  
(B) ボタンを押してクロノグラフ分針・時計針を0秒位置に合わせます。[OS20およびFS20] ボタンを押すにつけると早送りできます。
4. 時刻を合わせ直します。
5. りゅうずを (0) の通常位置に押し込みます。
6. (B) ボタンを押してクロノグラフ各針が0位置にリセットされることを確認してください。

※0位置に戻っていない状態でりゅうずを押し込まれると針の止まっている位置を0位置と認識してしまいます。その場合は、再度、0位置合わせを行ってください。

## クロノグラフの使い方

### OS10・OS20・FS20

OS10は1秒単位で最大11時間59分59秒まで計測表示します。  
OS20は1秒単位で最大59分59秒まで計測表示します。  
FS20は1秒単位で最大59分59秒まで計測表示します。



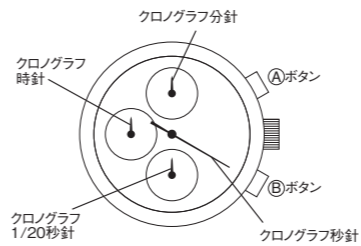
[OS10] [OS20およびFS20]

### <計測方法>

1. (B) ボタンを押してクロノグラフモードにします。
2. (A) ボタンを押す毎に計測スタート/ストップを繰り返します。
3. 計測中、あるいは計測ストップ中に (B) ボタンを押すとリセットされます。

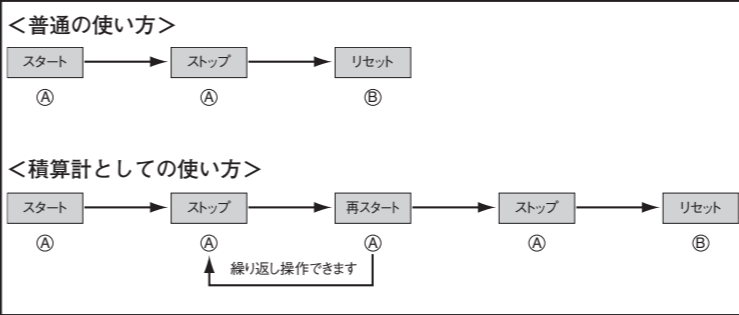
### OS80

OS80は1/20秒単位で最大11時間59分59秒まで計測表示します。但し、クロノグラフ1/20秒針は計測開始後30秒後に0秒位置で停止し、計測ストップしたときにその計測時間を表示します。

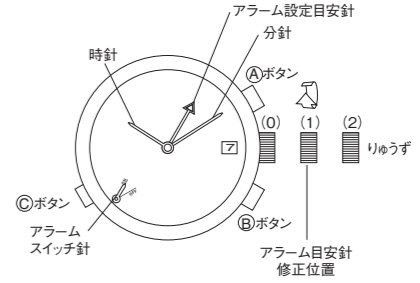


### <計測方法>

1. (B) ボタンを押してクロノグラフモードにします。  
(1/20秒針が0秒位置に停止し、クロノグラフ1/20秒針機能に変わります。)
2. (A) ボタンを押す毎に計測スタート/ストップを繰り返します。
3. 計測中、あるいは計測ストップ中に (B) ボタンを押すとリセットされます。



## アラームの使い方 (OS80のみ)



### <アラーム時刻のセット方法>

1. りゅうずを1段引き (1) アラーム目安針修正位置にします。
2. りゅうずを右 (時計回り) に回して、アラームをセットしたい時刻にアラーム目安針を合わせます。
- ※りゅうずを左 (反時計回り) に回すと、日付が変わりますのでご注意ください。
3. りゅうずを (0) 通常位置に押し込みます。
4. (C) ボタンを引いてアラームを "ON" にします。

### <アラームのON/OFFの切替え>

- ・アラームON・・・(C) ボタン1段引き位置
- ・アラームOFF・・・(C) ボタン通常位置 (押込み状態)

### <アラーム音の止め方>

- ・アラームが鳴っているときに (C) ボタンを押し込むと鳴り止みます。

※このアラームは12時間制です。(C) ボタンが引かれアラームONになっているときに、目安針と時計針が重なるとアラームが鳴ります。  
※このアラームはスヌーズ方式です。15秒間アラームが鳴ったあと、2分45秒の間隔をおき、また15秒間なります。このようにして、5回アラームを繰り返します。